

ALJE 第 4 回研究大会 (2024 年 3 月 24 日)

基調講演

登録日本語教員に求められるリテラシー

宮崎 里司

(早稲田大学日本語教育研究科)

日本語学校の教育内容を国が審査・認定する「日本語教育機関認定法」が、新年度から施行される。そこでは、日本語教育に必要な知識及び技能を判定するために行う試験が実施され、かつ、認定日本語教育機関において必要かつ実践的な技術を習得するための研修である実践研修を修了した者に、国家資格である「登録日本語教員」が与えられる。その試験では、従来にはない教育内容が必須項目として加わるが、「日本語教師の資質と能力」、「目的・対象別日本語教育法」や「日本語教育と ICT」などが挙げられており、これからの日本語教師に求められる必須リテラシーともいえる。また、1年以上の日本語教育歴があり、文化庁に届け出た日本語教師養成機関修了者や日本語教育能力検定試験合格者は、実践研修が免除されるが、新たなリテラシーをどのように習得すべきかが課題となる。本発表では、こうしたリテラシーに向けたリスクリングの意義について考えたい。